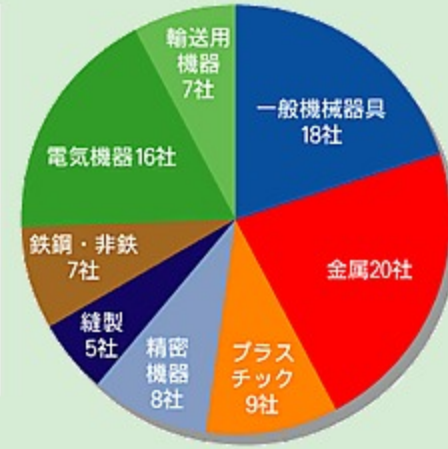


- 調査時点 平成20年1月調査（19年12月末時点）
- 対象企業 150社
- 回答企業 90社（回答率：60.00%）
（一般機械器具 18社、金属 20社、プラスチック 9社、精密機器 8社、縫製 5社、鉄鋼・非鉄 7社、電気機器 16社、輸送用機器 7社）



生産高

受注企業動向における全業種での生産高対前年同月比は▲12.2ポイント（前回▲6.9ポイント）を示し減少傾向にある。
「鉄鋼・非鉄」「電気機器」では増加傾向を示しているが、「縫製」「プラスチック」「金属製品」「輸送用機器」「精密機器」では減少傾向としている。

受注単価・資金繰り

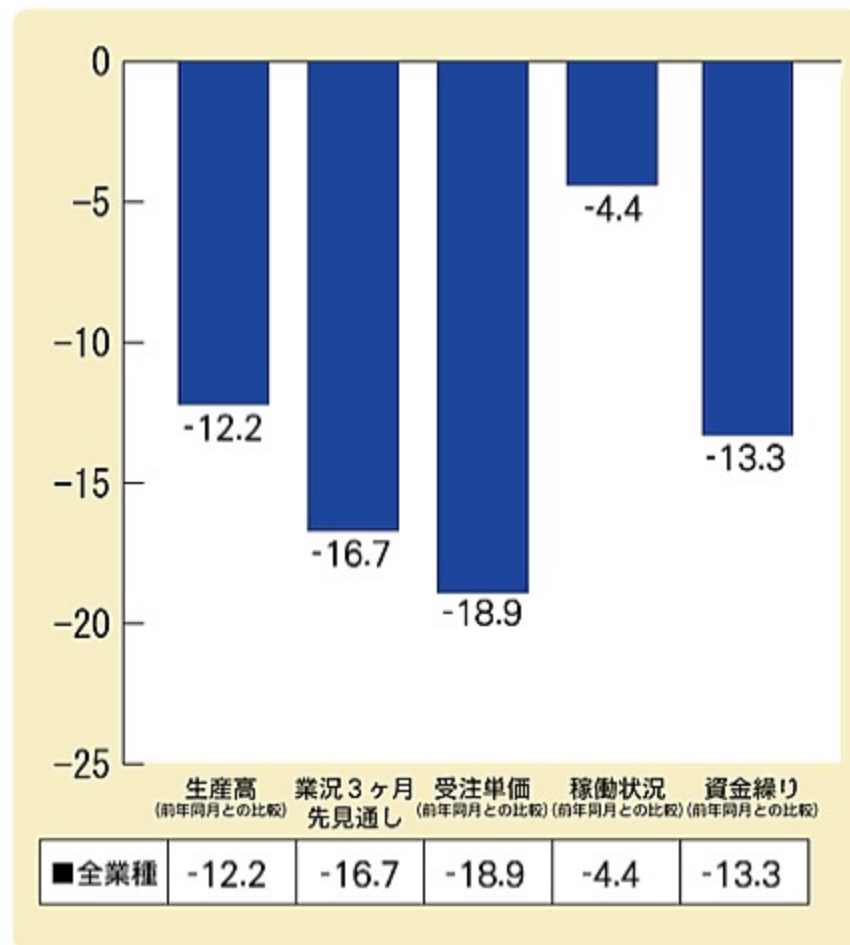
受注単価（対前年同月比）では、▲18.9ポイント（前回▲28.7ポイント）と厳しい状況が続いている。「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」では「上昇」としているものの、「電気機器」「一般機器」「プラスチック」「精密機器」では「減少」とする企業が目立つ。

資金繰り（対前年同月比）は、▲13.3ポイント（前回▲9.2ポイント）を示した。
「輸送用機器」のみが「良化傾向」としているが、「プラスチック」「金属製品」「縫製」「鉄鋼・非鉄」「精密機器」「電気機器」「一般機器」では「悪化傾向」としている。

3ヶ月先見通し

全業種での業況3ヶ月先見通しは、▲16.7ポイント（前回▲2.3ポイント）を示し厳しい見通しとしている。
業種別でみると、「精密機器」「金属製品」では「増加傾向」としているものの、「鉄鋼・非鉄」「輸送用機器」「プラスチック」「電気機器」「一般機器」「縫製」では「減少傾向」する企業が目立っている。

■全業種の受注動向



■業種別の受注動向

